


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書
 (当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 8 月 20 日

所属部局・職	野生動物研究センター・博士後期課程 2 年
氏名	田和 優子

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)	
東京国際フォーラム (〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1)	
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
丸の内キッズジャンボリー2014 TIF ワンダーキャンパス「サル・ヒト・キミ研究室」出展	
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)	
平成 26 年 8 月 11 日 ~ 平成 26 年 8 月 13 日 (3 日間)	
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
東京国際フォーラム	
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。	
夏休み中の子どもたちに体験や学習の機会を提供するために毎年東京国際フォーラムで開催されている「丸の内キッズジャンボリー」に、「サル・ヒト・キミ研究室」と題したブースを、PWS、WRC、JMC の共同で出展いたしました。 調査機材に触れたりテントやシュラフ等を体験したりできるコーナー、霊長類の能力に挑戦できるサルリンピック、剥製標本を間近で見たり頭骨レプリカに触ることのできるコーナーなどを配置し、参加体験型の展示となりました。 また1日3回ミニ講座を開催し、派遣者を含めた若手研究者やキュレーターによる講義をおこないました。 参加した子どもたちとその家族の方に、霊長類をはじめ世界中の様々な動物について、また、それぞれの研究の様子について知っていただき、野生動物研究の興味深さや必要性を社会に広く発信する機会とすることができました。	
	
(左：小・中学生を対象とした、派遣者による野生動物の調査についてのミニ講座) (右：子どもたちが調査機材を実際に使うことができる体験コーナー)	
6. その他 (特記事項など)	